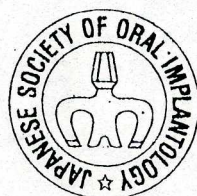


平成4年7月
24日・25日・26日

第22回 日本口腔 インプラント学会総会

The 22nd Annual Meeting of Japanese
Society of Oral Implantology

プログラム 抄録集



大会会長 懸 田 利 孝

第22回 日本口腔インプラント学会総会事務局

〒980 仙台市青葉区本町1-2-16

嵌植義歯研究所

TEL・FAX 022-214-1818

1992

定永 健男、渡辺 孝夫

東京都 鶴見大学歯学部

目的 Sinus liftした部位の組織は先回報告したが、今回は2種類の異なる骨補填材を填入した。症例の6か月後の組織を比較検討する。

方法 通法にしたがいSubantral augmentationを行い
OsteoGen:Dembone=
7:3の割合で填入したものとOsteoGen:Interpore200=
7:3の割合で填入したものととの組織の違いを比較検討した。

Clinical and Histological Study of
Subantral Augmentation.

Takeo Sadanaga D. D. S. Takao Watanabe D. D. S.

I. C. O. I Japan-Tokyo

The authors took the specimen of sinus lifting parts using compared with each other histologically.